

18日に三石氏が講演

外国人向け観光ガイド育成

文部科学省の委託事業として明治大学は六月十四日から、新宮市など熊野地域で「社会人向け観光ガイドの育成プロジェクト」を実施する。

世界遺産熊野古道などを実際に案内する経験を通じて、熊野の魅力を多くの外国人観光客に伝えられる力を身に付けることを目標としている。

このプロジェクトは、六月から来年二月にかけて全八回で実施。三重県東紀州地域から和歌山県田辺市までの熊野地域の方を対象に五十人を募集する。受講料は無料で、職業、年齢、英語力は不問。

開催に当たり、プログラム説明会と基調講演が十八日午後三時から、県尾鷲庁舎五階大会議室で行われる。参加は無料で、予約も不要。

当日は、熊野出身の崎章浩明治大学教授のあいさつのもと、東紀州観光まちづくり公社の三石学観光振興室長が「世界遺産・熊野の

魅力」のタイトルで基調講演を行う。

なお、十八日午前十時から、新宮市の新宮地域職業訓練センターでもプログラム説明会がある。カリキュラムは四段階の学習ステップで構成されており、英語が苦手な方でも無理なく学ぶことができ

るという。受講の申し込み期間は十二日から六月六日まで。資料請求は東紀州観光まちづくり公社

(電話0597・89・6172)、問い合わせは明治大学エクステンショングループ(電話03・3296・4500)まで。

南紀新報 5月13日

中日新聞(牟婁版) 5月17日

外国人に熊野の魅力をガイド

外国人観光客に熊野の魅力を伝えてみませんか。東紀州観光まちづくり公社などは、外国人向けガイド養成講座の受講者を募集している。

講座は、文部科学省の委託を受けた明治大の「外国人向け観光ガイド育成プロジェクト」の一環。六月から来年二月まで新宮市福祉センターなどで十八回開く。同大教員のほか、英会話講師や地元ボランティアガイドらが指導し、外国人を接客する

養成講座の受講者募集

ための知識や語学力を身につけてもらう。

参加は無料。定員五十人。申し込みは六月六日まで。事前説明会が十八日午前十時から新宮市職業訓練センター、午後二時から県尾鷲庁舎で開かれる。問い合わせは、同公社観光振興室(電話0597(89)6172)や新宮市商工観光課(電話0735(23)3333)へ。

(桜井祐一、片山健生)